

青い灯

八幡秋月

夜更けであった。
笠置のオオバの袴を
立てて二階を指す袖の足許
は落着かない程フ...

「アア？」斯んなに遅く来
た事のない袖二を見て玲子
は一寸目を圓くしてから暗
やかに
「まあ、入らつしやいませ
し随分はばらくね」
袖二は稀らしく酒で顔を
赤くほてらして
「上。あいてるかい？」ア
ゴで二階を指す袖二の足許
は落着かない程フ...

「アア？」斯んなに遅く来
た事のない袖二を見て玲子
は一寸目を圓くしてから暗
やかに
「まあ、入らつしやいませ
し随分はばらくね」
袖二は稀らしく酒で顔を
赤くほてらして
「上。あいてるかい？」ア
ゴで二階を指す袖二の足許
は落着かない程フ...

彼女を往來を越した向ふ
の小さな店 腰を下してあ
るハビルを想つてゐた。ハ
ゼルをやつて、自分が其處
に居ないでよかつた。もし
も自分が其處に止まつてゐ
たら、或は...

拾華微笑
は違ひます
勿來の櫻へ施肥
なんて若女生威
車窓も狭に着す
張らぬと良いが
芳香、溜らねえ
な

「どうしたの？」
「今晚大變に酔つてらした
やるのよ」
「どうも、苦しいよ」
「さうさう、どうも苦しいよ
藤本の傍に火鉢を置ながら
一寸不安に膝本の肩に
軽く手を置いて
「藤本さん！
と袖二の顔をのぞく様に
した
「どうしたんですの？斯んな
目に...

「アア、酔つたよ」
玲子に扶けられて二階の上
に、くづれる様にベタ／＼
として部屋の上布團の上
と坐り大きな息を吐いて
「アア、苦しい」
と苦しげに黒ぬりのチャ
ゲた、顔は眞赤にほてつて
ぶたの上に突伏して仕舞
ひ
「アア、入らつしやいませ
し随分はばらくね」
袖二は稀らしく酒で顔を
赤くほてらして
「上。あいてるかい？」ア
ゴで二階を指す袖二の足許
は落着かない程フ...

信濃にて
島田忠夫
雪は七尺
からだは五尺
雪の中ゆく
信濃の町で
島田忠夫の
顔長いから
馬と思ふたか
笑ふよら
(飯山町にて)
前田勝江
昨日も
中島 壹児

「アア、酔つたよ」
玲子に扶けられて二階の上
に、くづれる様にベタ／＼
として部屋の上布團の上
と坐り大きな息を吐いて
「アア、苦しい」
と苦しげに黒ぬりのチャ
ゲた、顔は眞赤にほてつて
ぶたの上に突伏して仕舞
ひ
「アア、入らつしやいませ
し随分はばらくね」
袖二は稀らしく酒で顔を
赤くほてらして
「上。あいてるかい？」ア
ゴで二階を指す袖二の足許
は落着かない程フ...

「アア、酔つたよ」
玲子に扶けられて二階の上
に、くづれる様にベタ／＼
として部屋の上布團の上
と坐り大きな息を吐いて
「アア、苦しい」
と苦しげに黒ぬりのチャ
ゲた、顔は眞赤にほてつて
ぶたの上に突伏して仕舞
ひ
「アア、入らつしやいませ
し随分はばらくね」
袖二は稀らしく酒で顔を
赤くほてらして
「上。あいてるかい？」ア
ゴで二階を指す袖二の足許
は落着かない程フ...

お蘭のお蝶
波長春
「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

お蘭のお蝶
波長春
「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...



此の話を次の巻のところに
書いてゐたのが茶を持つ
て来た娘 千葉の妻女に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に

「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に
「二年の後に必ず出府い
たす」と約束した本人が直に

か國許に別條など差起
のにはあるまいか、最上少
の明白とした所を突止め
々々當家に参らされては如何
なものか、本人の意中も不
明であるに拘らず、其許を
預つて置くのも異なるもの
に當家は門弟衆が
おはし可厭でも置いても置い
て置かなければならぬと云ふ
合はなれぬ。
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

お蘭のお蝶
波長春
「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

「ハア、約束？約束と申
さると何事かの？
「いえ、それは、あの何！
何でございます、あの龍馬
さまと...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...
「お、龍馬と...何でござ
いな...

學生カバン
小學生用
ランドセル
防水マント
女學生用
ファイル手提籠
ヤルツ

大塚製靴部
斯界のナンパワ
月星ゴム長靴
つちや會社製
瀟洒な形、奥床しい、メニアル光澤感最
普通ゴムの半分、耐久力百パーセント
紳士、學生一般人士、賞識確實
大人用 一四、一五より
小入用 二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二

吉田眼科病院
平町紺屋町
生花教授
池ノ坊流 生花を藝事として御教授いたし
ます。お遊びがたから御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館

陽明院
科一内
病虫腸指二千
婦人科
皮膚病
淋病
専門
院醫科性村松
(番七〇一電町南平)

お醤油は... ヤマフル
味噌醤油
たひら正宗
催節食料品
山崎合名會社
電話(本局)一〇番
電話(本局)二七番
電話(本局)二七番

皆様のラジオの店
古山電気商會
平町町(電田女學校)
うなぎ御用命は
うなぎ
平町町(電田女學校)

試練 樂な磐中に反して 高女は依然入學難 追る 磐中高女の入學願書は十五日午後十二時に締切るが...

役場石造庫新築 愈々來月一日から 町金庫事務取扱開始 平町では來月から町金庫が合に入札せしめ再入札せし...

諸國稅納期幅湊 酒屋關係の十三萬圓を筆頭に 今月限りの田租所得稅 平稅務署管内に於ける今月 四期一三一、九一四...

地方米價稍々安定 四等玄米俵八圓十錢 去月中旬來居坐り 不發檢支所調査昨十三日の臨時歴により事務整理中...

異動地整理 巨款事業の分割 郡下で約二萬筆 本稅務署管内の巨款土木事合計十三萬三千六百五俵...

小川の臨時村長 杉原前四倉町長就任 今十四日正式發表 前四倉町長杉原新吾氏は今任した...

木炭生産減 前同期より四千俵 三郡木炭同業組合去月中旬 三郡木炭同業組合は...

磐中人國記 赤井嶽男記 第八回生の巻D 小石川區門口町に在る大道...

東鐵驛長大異動 管內驛長水戸へ榮轉 麻植平は水戸へ榮轉 東京鐵道局の年度末大異動...

白雪損害を貢ぐ 水道凍結農産搬出支障等々 平町では近年稀な大雪と寒...

神谷婦人會 自力更生の前提に 發會の準備中 四倉軍事講義會 郡北部...

税金許り取立てる 恐い役所で無い 内郷の兒童見學團 唯野署長から懇篤説明...

親族會議決議請求訴訟 近藤眞平氏の遺産をめぐり 養子の父が未亡人を排撃...

就學兒童 身體検査 廿五日各校で 昨報決闘の殺人犯双葉郡廣平町の就學兒童七百六十名...

傷害致死 公判 支那部で三年求刑 茨城縣鹿島郡波崎町系川金...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

公民教育 吉富教育課長講演 昨報決闘の殺人犯双葉郡廣平町の就學兒童七百六十名...

決闘殺人犯 根本末吉送検 昨報決闘の殺人犯双葉郡廣平町の就學兒童七百六十名...

親族會議決議請求訴訟 近藤眞平氏の遺産をめぐり 養子の父が未亡人を排撃...

就學兒童 身體検査 廿五日各校で 昨報決闘の殺人犯双葉郡廣平町の就學兒童七百六十名...

傷害致死 公判 支那部で三年求刑 茨城縣鹿島郡波崎町系川金...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...

櫻樹に施肥 地元青年の奉仕 勿來關の 歸らぬ件と 家出の親爺...